

足守 (おかやまけん あしもり)

鉄道路線の要所である岡山は、倉敷をはじめとして沢山のブリージャースポットがあります。の中で、あまり知られていないけど充実した散歩のできるのが足守町です。

足守藩は、1601年（慶長六年）に、太閤秀吉の正室北政所（通称ねね）の兄であった播磨姫路城主木下家定が領地を備中に移し、二万五千石を領したことに始まります。

町並み保存地区には歴史的、文化的な建物、資料が沢山残っていて、平日なら観光客も少なく、静かにブラブラと歩けば贅沢な散歩を楽しめます。通りには武家屋敷が連なり、中でも足守藩家老・杉原家の旧邸宅は白壁の長屋門と土塀に囲まれて、伝統的な武家書院造り。

県指定名勝の近水園（おみずえん）は木下家の庭園で、池を中心に回遊式をとる小堀遠州流で、池畔に建つ吟風閣は京都の御所不信の際に出た残材を持ち帰って建てた、飾らぬ数寄屋づくりで美しい。また、江戸で蘭学を学び、後に福沢諭吉らを排出した「適塾」を開いた緒方洪庵は足守に生まれました。木下家十四代当主・木下利玄の生家も見学可能。利玄は武者小路実篤、志賀直哉と共に雑誌「白樺」を発刊したことで知られる文人です。



足守藩家老・杉原家旧邸宅

# こんなにイイ町が隠れてた 岡山県足守町

足守は岡山市の北方にあり、『比翼入母屋造』が美しい吉備津神社、秀吉が水攻めをした備中高松城のちよい奥にあります。なのでせっかくだから吉備津神社くらいは寄りたいところだが、一日3本しかないバスでは無理。町並保存地区は足守プラザ前からスタートして、城下町の風情を楽しみながらノンビリ歩きます。足守藩の歴史は深いので見学場所も豊富。一番奥にある近水園からUターンして、足守プラザで遅いランチを食べてバスで岡山に…といった感じ。交通が不便で観光客は少ないのが贅沢で、こんなイイ町を隠してくれていたことに感謝した散歩でした。



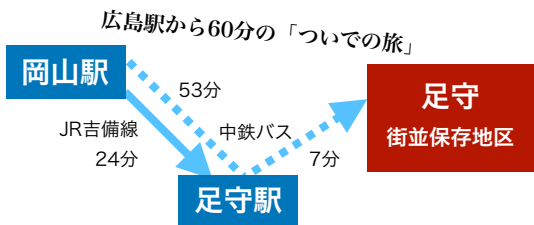
近水園・吟風



足守の街並



足守プラザ内の洪庵茶屋でランチとお土産



岡山駅から足守の町並保存地区（バス停：足守プラザ前）へ行くにはバスまたはJR吉備線の選択肢があるが、JRを利用して足守駅から保存地区へは岡山からくるバスに乗らなければならない。このバスがなんと一日に3本しかない（2018年4月現在）。

岡山駅→足守プラザ前：8:52, 16:07, 18:48

足守プラザ前→岡山駅：7:15, 9:40, 15:10

つまり、岡山からは8:52のバスでいき、15:10で復るということ。バスは岡山駅→足守プラザ前が60分。足守駅→足守プラザ前が7分。JRの岡山→足守が24分で1時間に1～2本だから、JR+タクシーの手もあるが、無人の駅にタクシーは待っていないのでは。

足守町観光案内 <http://www.okayamanishi.jp/ashimori/index.cgi>